けぬと言ふので多數が相談して代表者を出して訴へ又は嘆願して押し掛け要求を致しました其の內には御承知の佐倉宗五郎などあります。室町足利時代及徳川時代の農民運動は大体今申した通りですが今日の地主協會の宣言など見ると「白晝火なきに警鐘を亂打し平和なる農村を攪亂す」と農民運動を罵して居るが決して其んなものではありません、煽動者（惡く言へば煽動だがよく言へば指導者）が警鐘を亂打するから民衆が起つたのではない。勿論煽動者がない譯ではないが世の中の狀勢が立たねばならぬ狀勢言ひ換へゆれは運動を起さねは辛して行けない狀態になつたから起つたものであることを歷史を通して皆樣はよくお考を願ひます。話は徳川時代の歷史にもどりますが此等の運動の防止策として禁壓令と言ふものを造りました。徒黨を企てたもの、打首、徒黨を組みよからぬ事を相談したるものは本人及家族は打首村の庄屋は所拂ひ其の上村の住民は倍額の

財團法人 協調會福岡出張所